

こんにちは!

# 村立東海病院



## 患者さんに寄り添う「退院調整看護師」と「医療ソーシャルワーカー」

近年、病気やけがで入院した患者さんは、治療や手術を行った後、たとえ入院前の状態に100パーセント戻らなくても、退院や転院をせざるを得ない状況にあります。そのような中、患者さんやご家族が退院後の生活に困らないよう、退院調整に関わる専属の「退院調整看護師」(以下、「看護師」)がいることを皆さんはご存じでしょうか。

似たような役割に、「医療ソーシャルワーカー(Medical Social Worker)」(以下、「MSW」という職種があります。どちらの職種も、患者さんやご家族が抱える問題の解決に向けてお手伝いすることに変わりはありません。強いて言えば、看護師は患者さんご自身の今後予想される身体状態に対してサポートし、MSWは患者さんご家族の問題に対してサポートする傾向にあります。

看護師やMSWはお互いの専門知識などを生かしながら、それぞれの問題に向き合うよう努めています。以下では、当院での取り組みをご紹介します。

### 【今まで一人暮らしをしていた高齢者が入院。退院後、安心して生活を送るには…】

退院を見据えて療養やリハビリに励む中、「トイレまで一人で歩いて行けるようになれば、自宅に帰れる?」、「オムツ介助が必要なら、施設入所も考えるべき?」など、患者さんはもちろん、ご家族にとっても悩ましい問題にぶつかります。

#### ① 患者さんやご家族に寄り添い、話を聞く

退院後の見通しが立たず不安を抱えている中、患者さんやご家族はどのような思いを持っているのか話を伺い、看護師またはMSWのどちらが担当するかを決めます。場合によっては双方で共同して関わることもあります。

その後、医師や病棟看護師、リハビリ担当者など、さまざまな職種の職員で、どのような支援が必要かを検討していきます。



#### ② 患者さん一人ひとりに合った支援を行う

▽患者さんが自宅に戻る場合…どうしたら一人暮らしでも安心・安全に過ごせるのか、患者さんやご家族、病棟看護師、リハビリ担当者、担当ケアマネジャーを交えて必要な情報交換を行い、どのような準備を行うかを検討します。

▽患者さんが施設に入所する場合…本人やご家族の希望、体の状態を踏まえ、条件に合った施設を探して提案します。

### 患者さんの気持ちに寄り添う姿勢を大切にしています

支援が必要な方と接するとき、社会資源(介護・障がいサービスなど)をただ単に紹介するだけでなく、相談援助の基本理念に沿ってその方自身を理解し、寄り添う姿勢を大切にしています。患者さん一人ひとりが持つ力やその気持ちを尊重することも忘れません。退院調整看護師やMSWの仕事は、病院と関係機関の橋渡しや問題解決に向けたお手伝いであり、「解決するのはあくまで患者さんやご家族である」という視点に立ち、支援しています。



村立東海病院 地域医療連携室

【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、地域福祉課地域医療推進担当(☎287-0848)